

令和7年12月31日

一般社団法人大阪府ペストコントロール協会
令和7年（2025年度）事業報告
1月1日～12月31日

I. 概要

2月～3月は2025年大阪・関西万博開幕前のネズミやセアカゴケグモ等の無償での事前調査を行い、開幕後のユスリカ大量発生等について、万博協会にて防虫委員会が発足、6月より10月の閉幕まで防除業務に携わりました。会員の皆様には延べ150名以上連日早朝からの調査駆除にご協力頂くこととなり、改めて御礼申し上げます。

今後も、有事の際はこれまで培ってきた環境衛生に関する防除技術・知識を活かし、各行政機関・関係団体と連携した活動に取り組んで参ります。

害虫相談事業

府民より寄せられた全体の相談件数は1月1日～12月31日まで計3,837件、昨年の4,031件より194件減少しました。節足動物に関するご相談は全体の56%で、ハチは全体が1611件で、うちアシナガバチの相談が昨年より292件減少し、スズメバチについては153件昨年より増加しました。トコジラミは90件減少し211件でした。節足動物以外は全体の43%（哺乳類イタチ457件、ネズミ384件、コウモリ143件、鳥類は338件）でした。

委託事業

各地感染症媒介蚊のサーベイランス業務は、例年通りの調査数（7～8回）にて依頼があり実施中です。

研修事業

9月には、感染症対応出動隊研修会を行いました。枚方市との感染症媒介蚊採取と同定業務委託契約に基づき、8分間人囮法による媒介蚊採取と同定方法について研修並びに実地演習を行いました。また、厚生労働省から登録を受けた防除作業監督者講習会はオンライン講習会と会場開催を実施、防除作業従事者研修会は日ペのeラーニング開催を踏まえて定員を縮小したうえで会場開催にて実施いたしました。